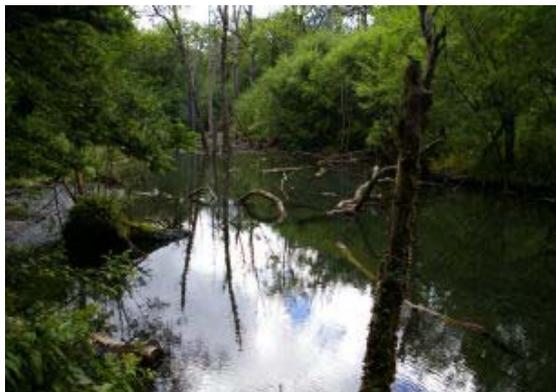


2007.9.14 穂高山行 野木鳥の会 S T F K 4名 天気 概ね曇りのち晴れ



上高地 出発



明神と徳沢の間

徳沢園



1330 上高地発 1506 徳沢園到着

雨予報であったが、曇り。徳沢園に到着後、早速、ビールで乾杯。夕方、前穂高はガスのなかだが、時々、姿を見せた。

2007.9.15 晴れのちガス 奥又白池、5・6のコル、涸沢小屋



早朝、徳沢から朝日の前穂高

545 徳沢園発 610 新村橋 720 パノラマ分岐 940-1007 標高 2300 で昼食 1052 奥又白池 1126 水を確保して発 1223 奥又白谷を越える 1342 標高 2683 でコル手前休憩 1404 コル到着 1428 コル発 1619 小屋到着



右の尾根をよじ登る

奥又白谷のパノラマ分岐から勾配がきつくなる。とくに右手の尾根の登りはきつく、木を掴みながらの厳しい登りが分岐からでも概ね3時間はあった。救いは後ろに見える常念や大天井、蝶ヶ岳の眺め。



常念岳



中央・蝶ヶ岳、右手は長堀尾根



奥又白池

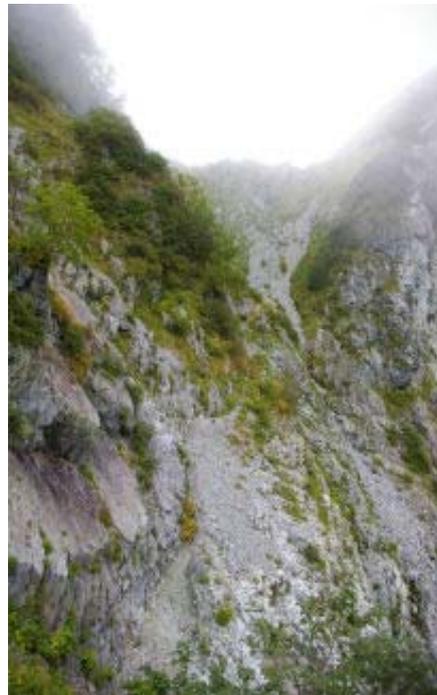


横断した奥又白谷を振り返る



5・6の科尔を望む

5・6の科尔への分岐を左にとり、池を目指す。池は登りきったところで劇的に出現する。東には梓川と蝶ヶ岳などの山並み。南側の谷で水を確保して、5・6の科尔に出発。奥又白谷は深く、相当降りて、再び登り返すというきつい道であった。結果的にはもっと上部で谷を横断すれば、もっと楽であったか



5・6の科尔への最後の険しいトラバース道

も。5・6のコルの手前でいかにも崩れた様子のトラバース道となっていた。緊張をフルパワーにしてコルに到着した。あとは涸沢の下りを残すのみとなり、一同安堵の表情。



5・6のコルの下り

左に涸沢小屋、右に涸沢ヒュッテ



中央雪溪の見えるところが5・6のコル下部

小屋で寛ぐ

コルからの下りは結構、時間を要した。途中、チングルマ、ミヤマキンポウゲ、ウサギギク、ミヤマアキノキリンソウ、ヨツバシオガマなどの高山植物が多く観察された。なお、本日のコースで観察された他の花としては、トウヤクリンドウ、リンドウ、トリカブト、イワツメクサ（白）、イワギキョウ（紫）など。Fさんは膝を痛め、ここの下りがつらそうであった。小屋でさっそくねぎらいのビールで乾杯。

2007.9.15 晴れのち雨のち晴れ 奥穂高—吊尾根—紀美子平（前穂高下）—岳沢—上高地
545 涸沢小屋発 645 ザイテングラード 750 穂高岳山荘 841 奥穂高 855 発 1020—
1040 紀美子平で昼食 1225—1254 岳沢ヒュッテにて休憩 1443 上高地
但し、体調不良のTさんと膝を痛めたFさんは小屋からそのまま横尾経由で上高地に。

きのうの疲れのとれないまま、奥穂高と前穂高を目指す。小屋からいきなり急な登りだ。あえぎあえぎ穂高岳山荘に到着。目の前にドーンと大きな岩山がある。



屏風の朝焼け



中央が 5・6 のコル



登りの途中で奥穂高（左）を望む



山荘からいきなり岩に取付く
吊尾根から岳沢を望む



登り始めたが、岩が冷たく、手袋をはめる。鎖場、はしごなどを使ってどうにか、山頂につく。ガスで景色はゼロゆえ、山頂の証拠写真のみ撮る。吊尾根を順調に進む。時々進行方向右側（南）のガスが晴れ、帰りの重太郎新道や岳沢を見ることができた。紀美子平で食事とした。前穂高の前に腹ごしらえのつもりであったが、雨が降り出してきた。このため、前穂高は断念し、帰路を急ぐことにした。重太郎新道は急な下りで、要所要所にはしごや鎖場があった。雨で濡れたくさは滑りやすく細心の注意を払って下った。2時間の長い急な下りでした。岳沢に近づくに従い、雨も止み、暑くなってきた。岳沢ヒュッテで雨具を乾かしたり、残りの食料を食べたり、思い切り水を飲んだり、長い休憩をした。岳沢の下りも長く暑い道のりであった。振り返った穂高の山並みはすばらしく、あそこから降りてきたと思うと感慨深いものがあった。



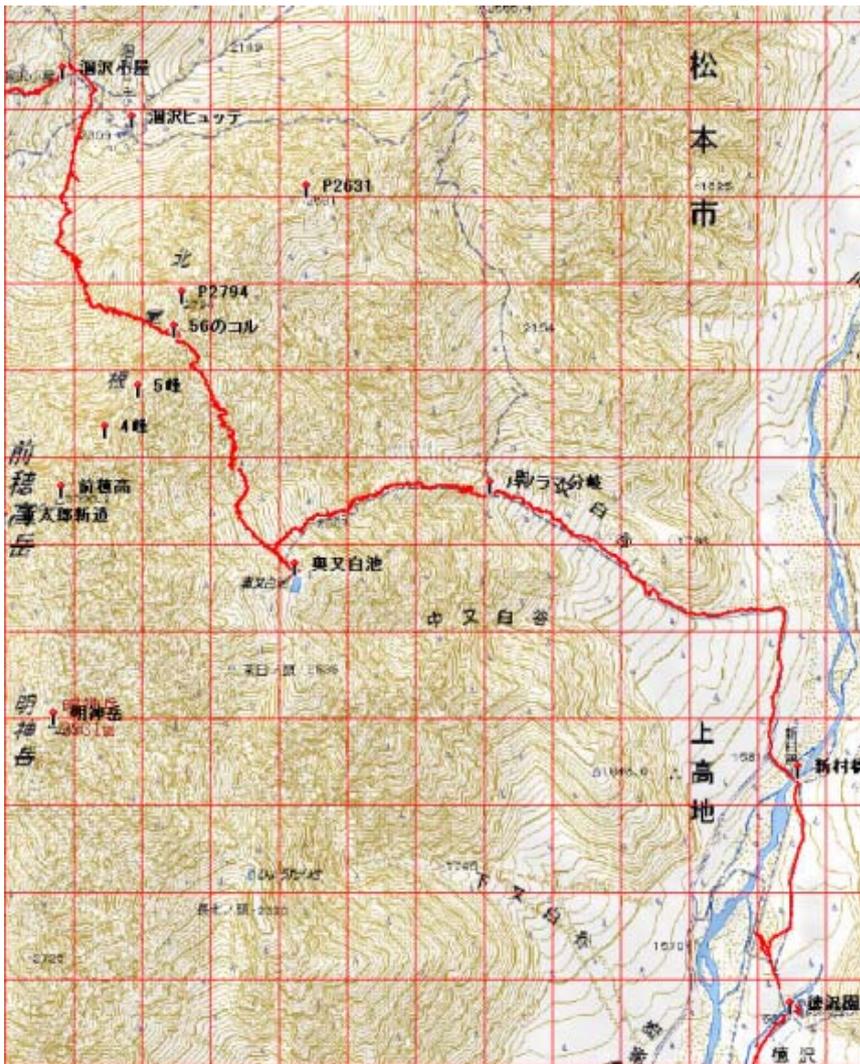
岳沢から穂高連邦



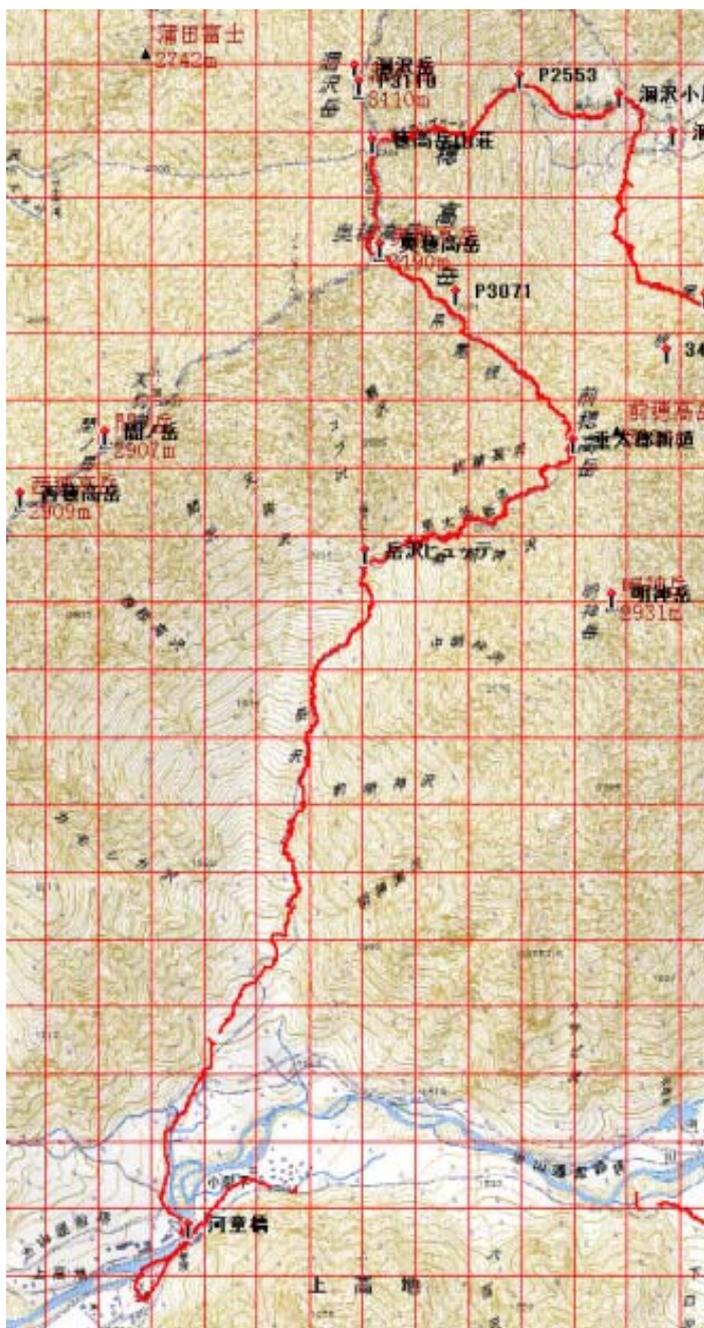
上高地での散策

林道にくると多くの観光客がいた。河童橋まで上高地での散策を楽しんで、先に到着していたメンバーとバスターミナルで合流。タクシーで車のある平湯に。温泉で汗を流して、帰宅の途に。

苦しかったが、すばらしい穂高山行でした。



徳沢から奥又白池、
5・6の科尔を経て
涸沢小屋に



濁沢小屋から奥穂高、前穂高、重太郎新道、岳沢、上高地

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000（地図画像）及び数値地図 50mメッシュ（標高）を使用したものである。

（承認番号 平17総使、第290号）

トップページは<http://www7a.biglobe.ne.jp/~tilmame/> です。